

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・3か月前は客数が少なく、販売量もかなり減っていたが、ゴールデンウィーク明けから、徐々に客の夏物への購買意欲が高まり、販売量が少し持ち直してきている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・既存店の売上高の前年比を3か月前と比較すると、99.5%から100.8%へと1.3ポイント上昇している。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・来客数、客単価ともに伸びている。また、薄型テレビの販売が好調に推移している。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・5月は連休利用の旅行者が多かった。6、7月の団体旅行、グループ旅行の契約や、個人の海外旅行、ハネムーン等の相談が増加している。また、東京便の航空券の売上も順調である。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・来場者の状況は、3か月前と比較し動きが良く、週末の予約もコンスタントに埋まってきている。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・週末を中心に、来街者数の減少がみられる。また来街者の内、買物袋を持っている人の数が極端に少なく、購買に結び付いている様子はうかがえない。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	単価の動き	・衝動買いをする客がおらず、値段の下見をした上で購入している様子であり、値段が他店より高ければ売れない。
		百貨店（総務担 当）	お客様の様子	・株でもうけた客の消費が活発になってきているが、それはごく一部であり、全般には非常にシビアな買い方が続いている。例えば、以前なら、婚約指輪は1か月に30万円台の商品が3～4本売れていたが、今月は10万円台の商品しか売れていない。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・前月同様、ファッション関連商品が苦戦し、特に婦人用品の落ち込みが目立った。ブランド商品群は、前年売上を確保したが、その他の部門は総じて低調であった。結果として、前年同月比で来客数は若干上回ったものの、売上高は減少した。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・衣料品の売上は前年比で10%弱低下し、肉はBSE、鳥インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザ）の影響で8%強の低下となった。こうした影響から、全体の客単価は2%強下がった。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・雨の日が多かった影響で、売上額は前年を下回った。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・ジャケットなどで一部動きはみられるが、これといった売れ筋商品がなく、単品買いの客が多い。来客数、客単価は3か月前と変わらない。
		スナック（経営 者）	単価の動き	・客の飲む商品が、ウイスキー、ブランデーから焼酎等に変更、単価が抑え気味になった。
		都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・来客数は増えてきたが、逆に、単価の動きは下落しており、売上はほとんど変わらない。
	やや悪く なっている	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・個人の消費は、若干プラスになっている感もあるが、業務店、居酒屋、スナック等の酒消費量の動きをみる限り、不景気と言わざるを得ない。
		スーパー（営業 担当）	単価の動き	・消費税総額表示に伴い、割高感から一回り安い物を買っている。その結果、客の買上点数、買上単価が伸び悩んでいる。
		家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・洗濯機、冷蔵庫の売上は、前年、先月と比較しても悪く、特に洗濯機は10%前後落ち込んでいる。テレビ、エアコンは、販売量は底堅いが、売上は前月比で少し減少している。全体的には品目ごとの格差が大きくなった。
		乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・土・日曜の来客数が前年比91%と落ち込んでおり、新車の計画販売台数も大きく下回っている。
悪く なっている				
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	化学工業（営業 所長）	受注量や販売量の動き	・家庭紙関連の荷動きが良くなり、受注量も増加している。

	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・関東の排ガス規制対応の台替需要は一段落したが、東海地区の動きが少し出てきた。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・大手製造業者の工場増設に係る見積依頼が来るようになった。	
	通信業（営業担当）	それ以外	・会社経営者との対話の中で、新たな設備投資意欲が感じられるようになってきた。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・不動産の動きが多少出てきて、チラシ折込、新聞広告などの出稿は増加傾向にある。	
	公認会計士	取引先の様子	・各取引先の決算書で、売上が前年を下回っている企業が少なくなってきた。試算表でも、売上が若干ではあるが、全般的に伸びている。	
変わらない	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・取扱量の持ち直し感はあるが、依然、乱高下しており、不透明感がある。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・建設土木・木材関連等では、受注の改善がみられない。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・3か月前と比較し、原材料の値上げ、特に鉄鋼、成型品関係の素材の値上がり幅が大きく、それが製品単価に反映できないため、非常に厳しい。	
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらずダンピング競争が続いている。	
悪くなっている				
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・企業の採用数の増加が顕著に現れている。また、雇用の流動性が少しずつだが拡大傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比ベースで8か月連続して増加し、パート求人数も増加に転じた。特に、卸売・小売業、飲食店では、人件費抑制からパート社員、契約社員の求人が多い。
変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数自体は増加しているが、派遣、請負の求人による増加が目立ち、正規職員の求人数増加の動きはほとんどみられない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人数は、前年同月比でプラスが続いているが、主に臨時や期限付き求人の増加が目立っている。一方、新規求職者も3か月連続で前年比プラスとなっている。	
	民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・先行き不透明につき、紹介予定派遣が増えてきている。	
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は従来とほぼ同水準で、増加はみられない。	
やや悪くなっている				
悪くなっている				